

若手・非-常勤職研究者支援に関する アンケート集計結果

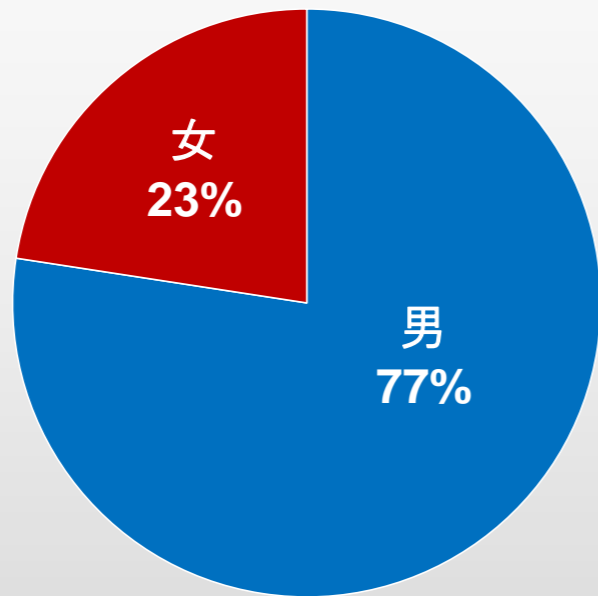
2014年4月

目次

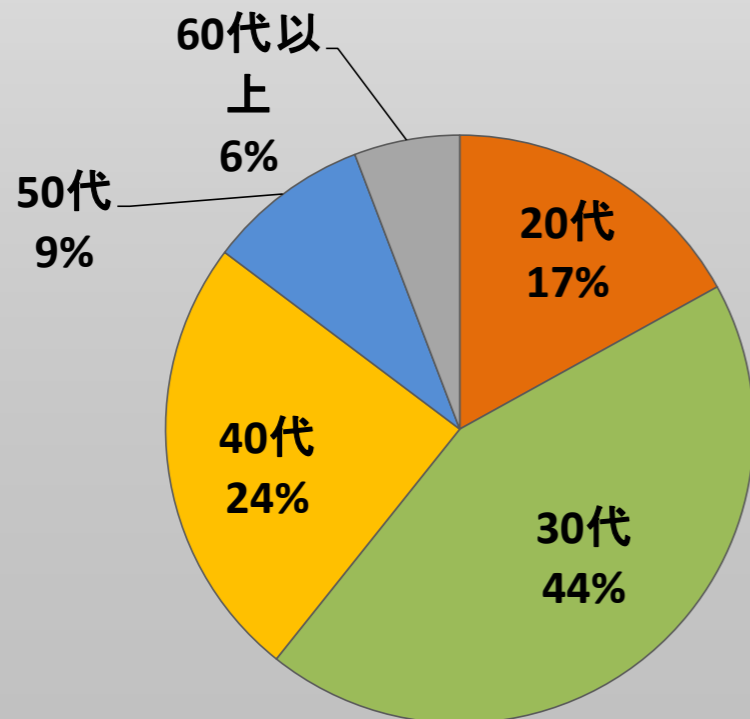
- 回答者の統計
- グラフ化にあたって
- Q1.1 現在、大学院生および非一常勤研究者に対して、迅速に対応すべき問題は何だ
と思いますか。
(生活面・就業面、研究面)
- Q1.2 こうした問題に改善の兆しが見られないのは、何が原因と考えますか
- Q1.3 現今の大学教員職(非常勤職も含む)の採用形態について、どのような問題がある
と思いますか
- Q1.4 現今の日本学術振興会の研究支援について、どのような問題があると思いますか
- Q2 日本哲学会および人文社会系の学会は、大学院生および非一常勤職研究者に対
して、どのような支援策を講じるべきと思いますか。

回答者の統計

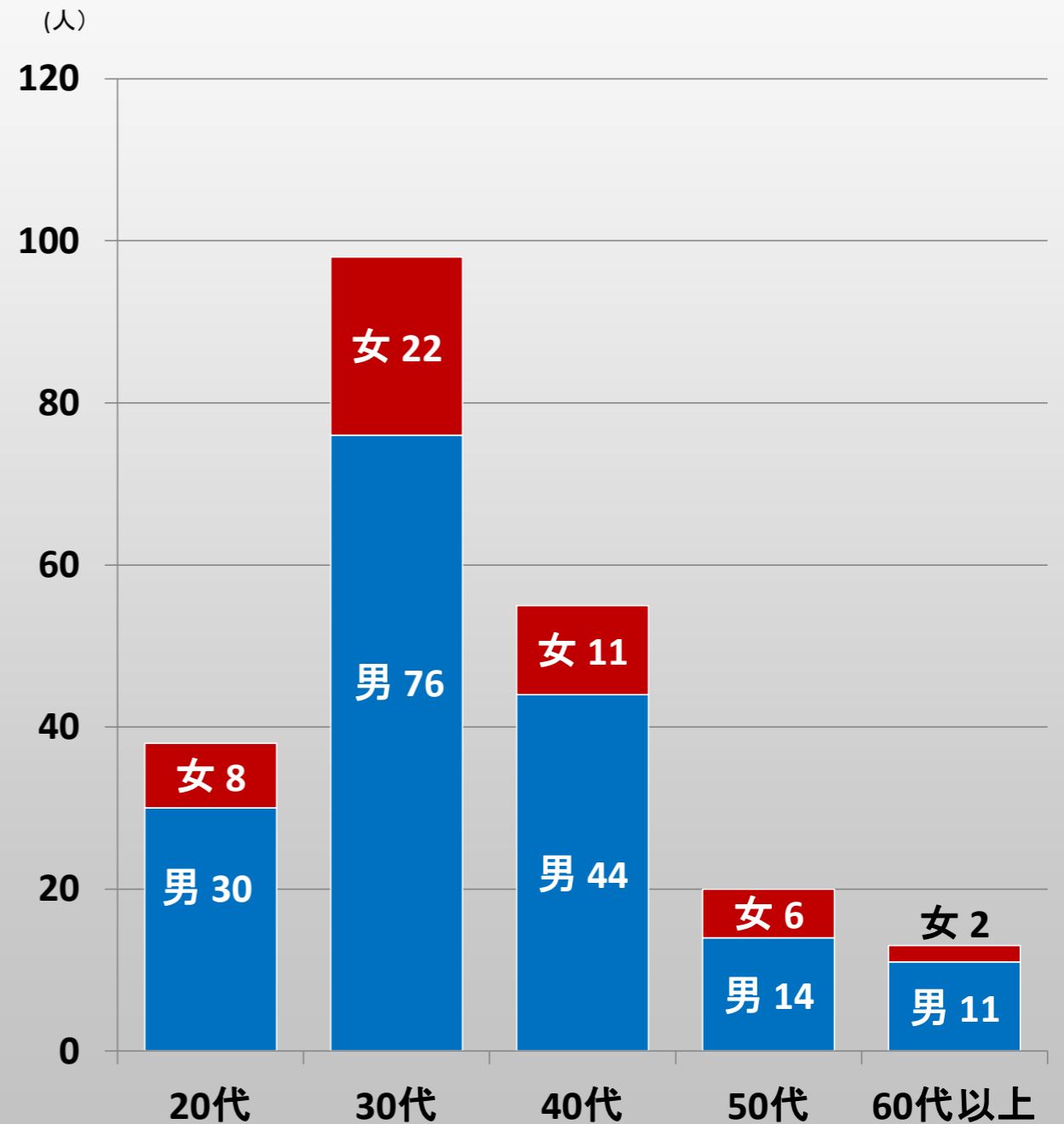
■性別(n=226)



■年代(n=224)



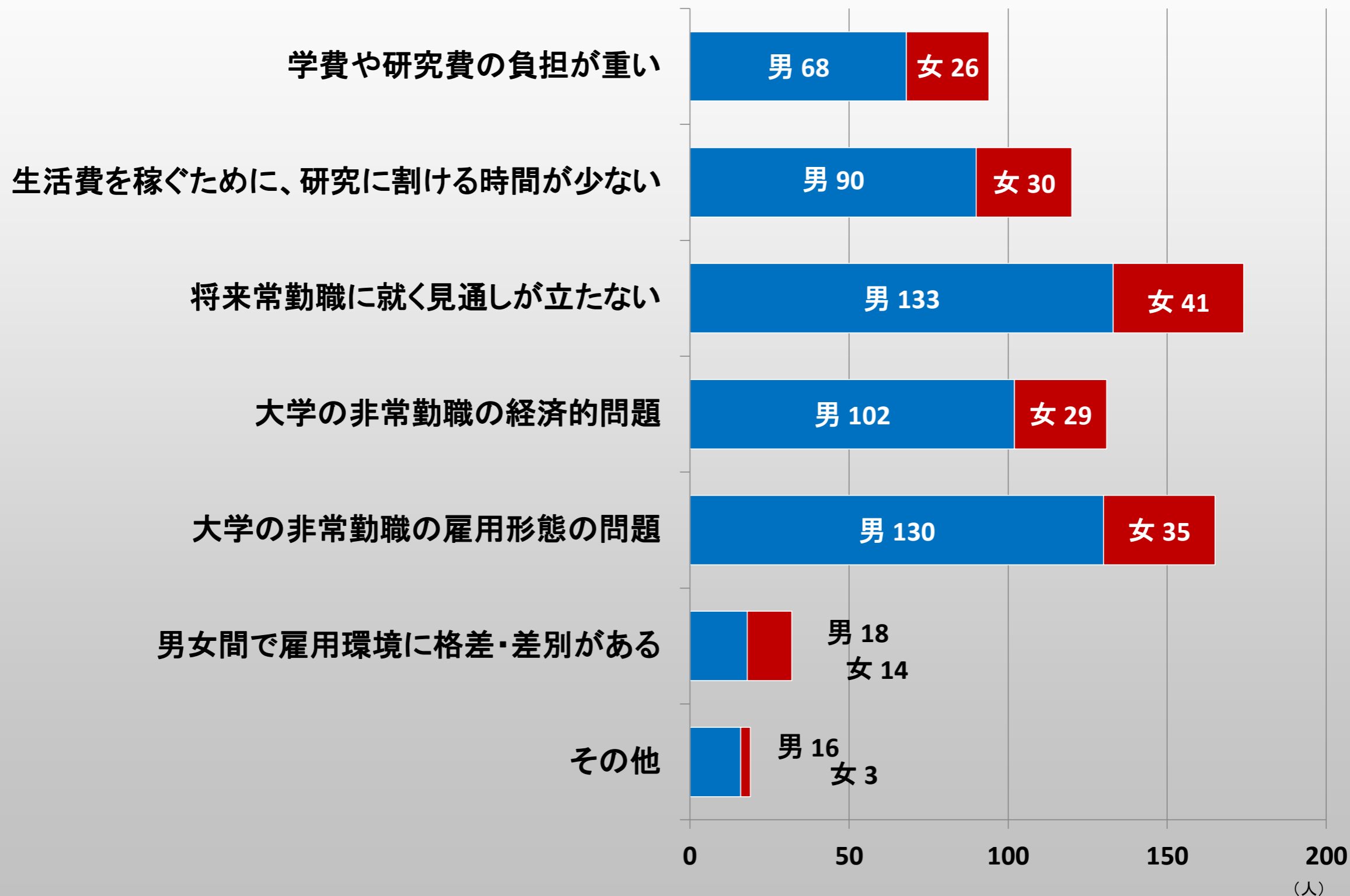
■性別×年代(n=224)



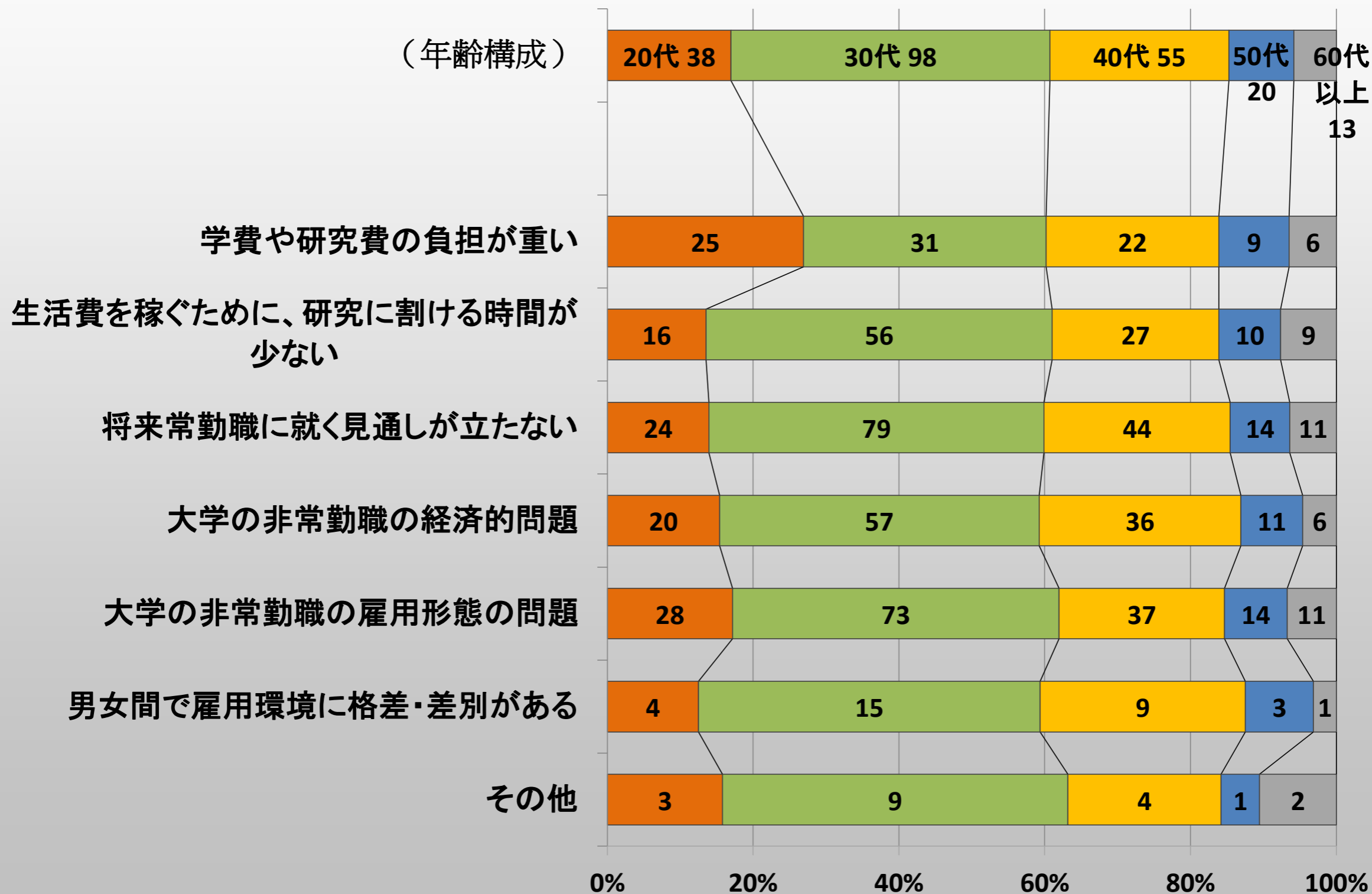
グラフ化にあたって

1. 複数選択可の設問については、回答別に、性別についての積上げ棒グラフ、年齢についての100%積上げ棒グラフで表示します。
2. 年齢別の統計はサンプル数が少ない部分があります。参考値として表示しました。(60代以上など)

Q1.1 現在、大学院生および非一常勤研究者に対して、迅速に対応すべき問題は何だと思えますか／生活面・就業面（複数選択可）

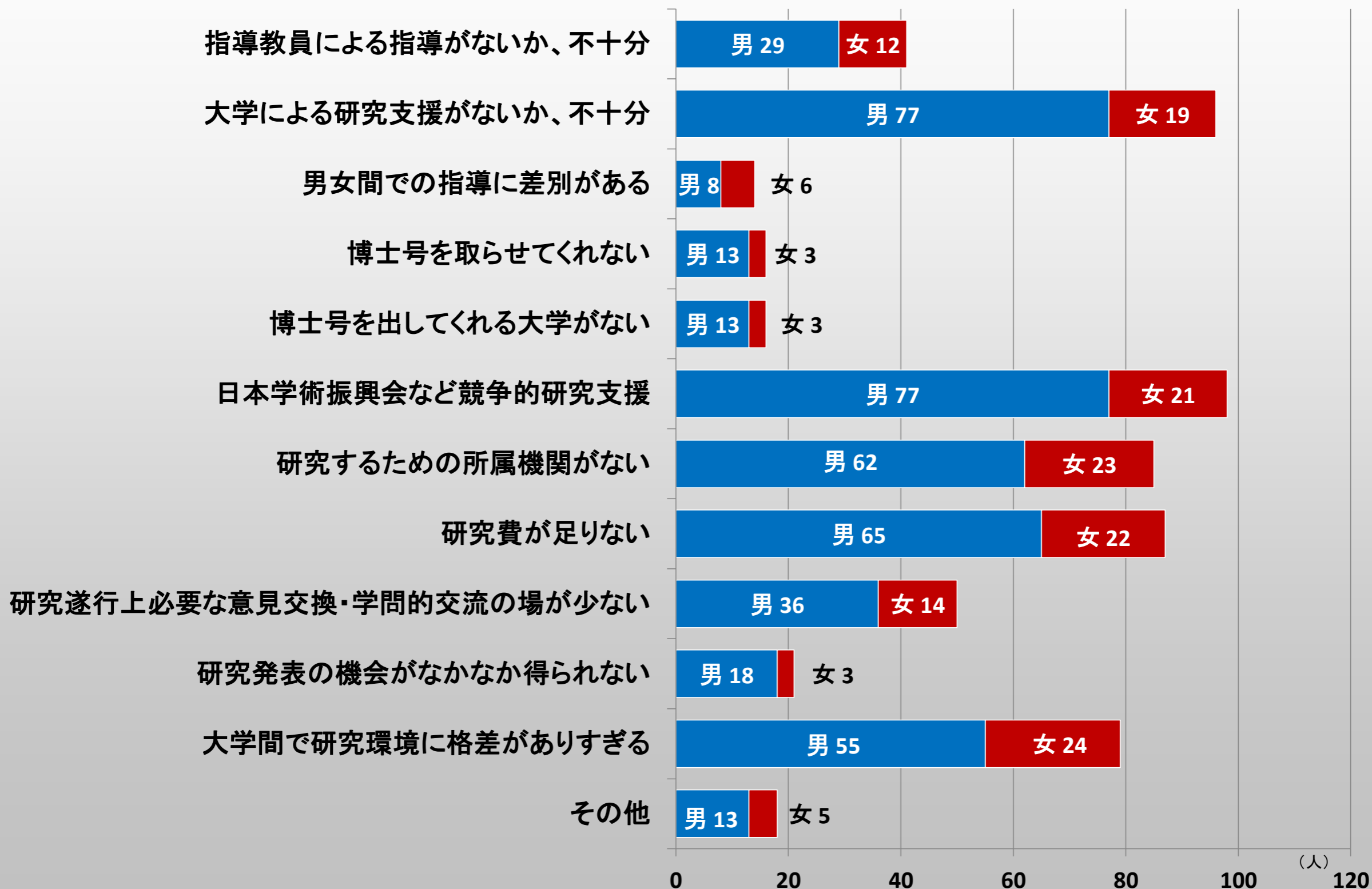


Q1.1 現在、大学院生および非一常勤研究者に対して、迅速に対応すべき問題は何だと思えますか／生活面・就業面（複数選択可）

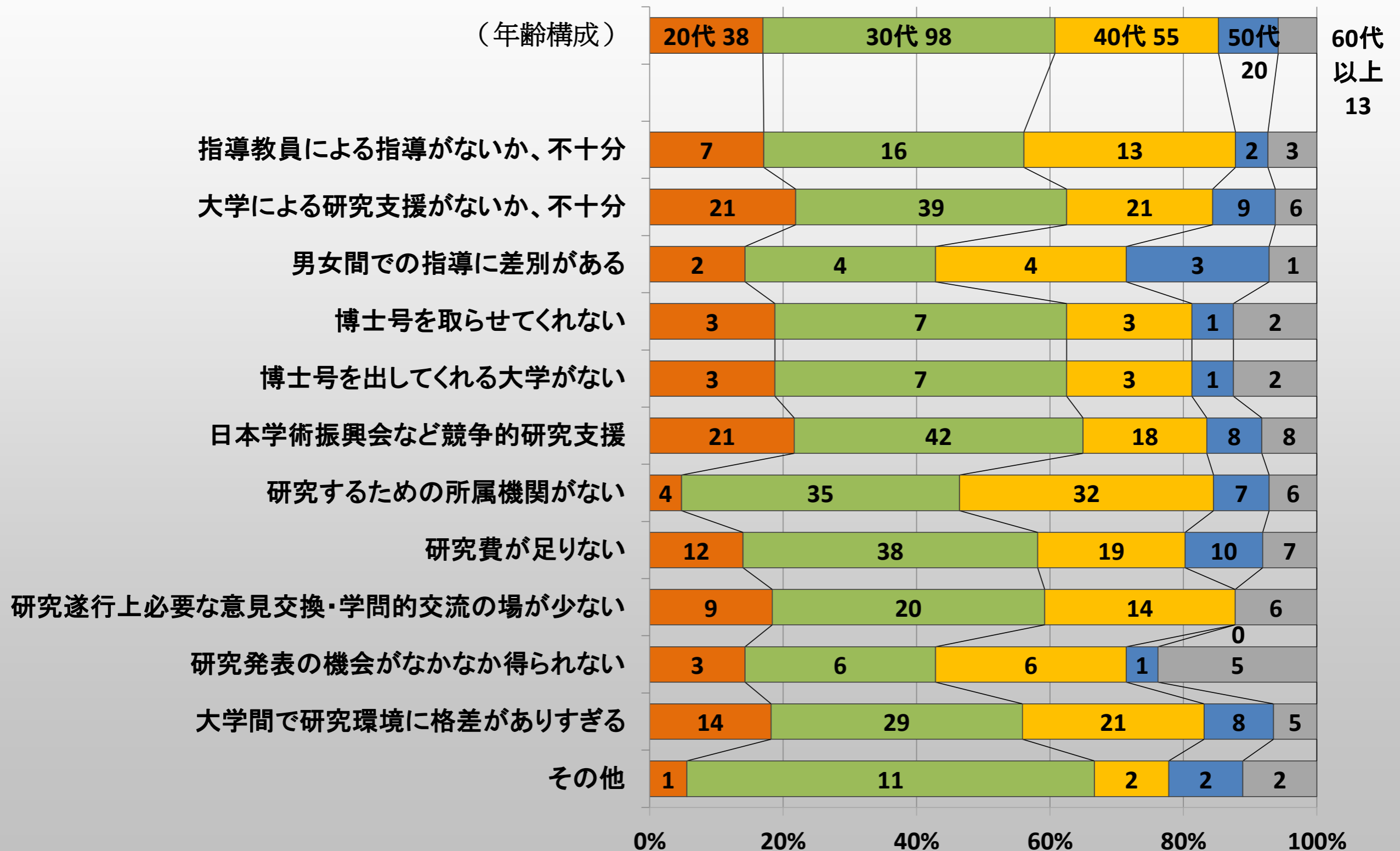


Q1.1

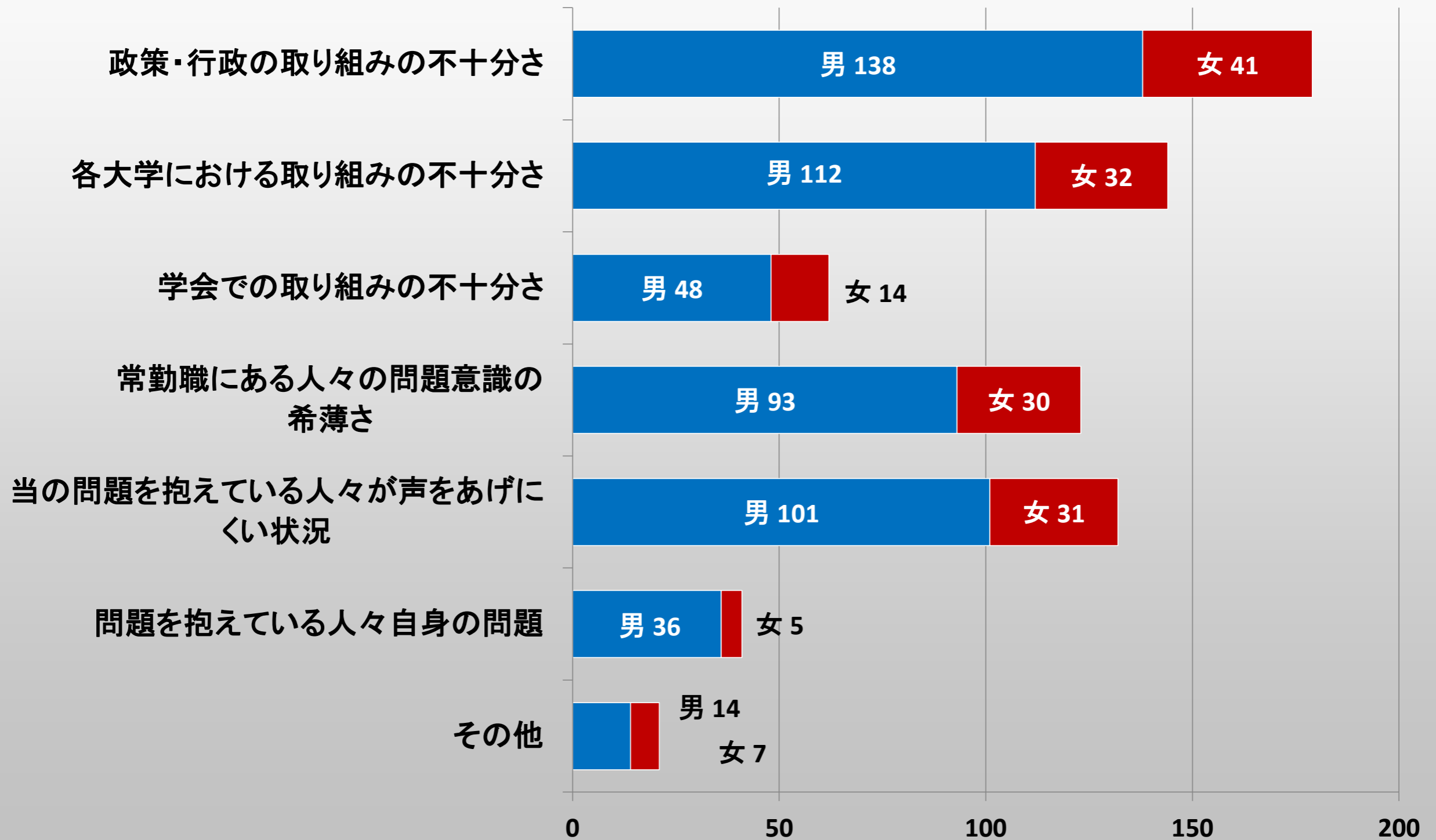
現在、大学院生および非一常勤研究者に対して、迅速に対応すべき問題は何だと思いますか／研究面（複数選択可）



Q1.1 現在、大学院生および非一常勤研究者に対して、迅速に対応すべき問題は何だと思えますか／研究面（複数選択可）

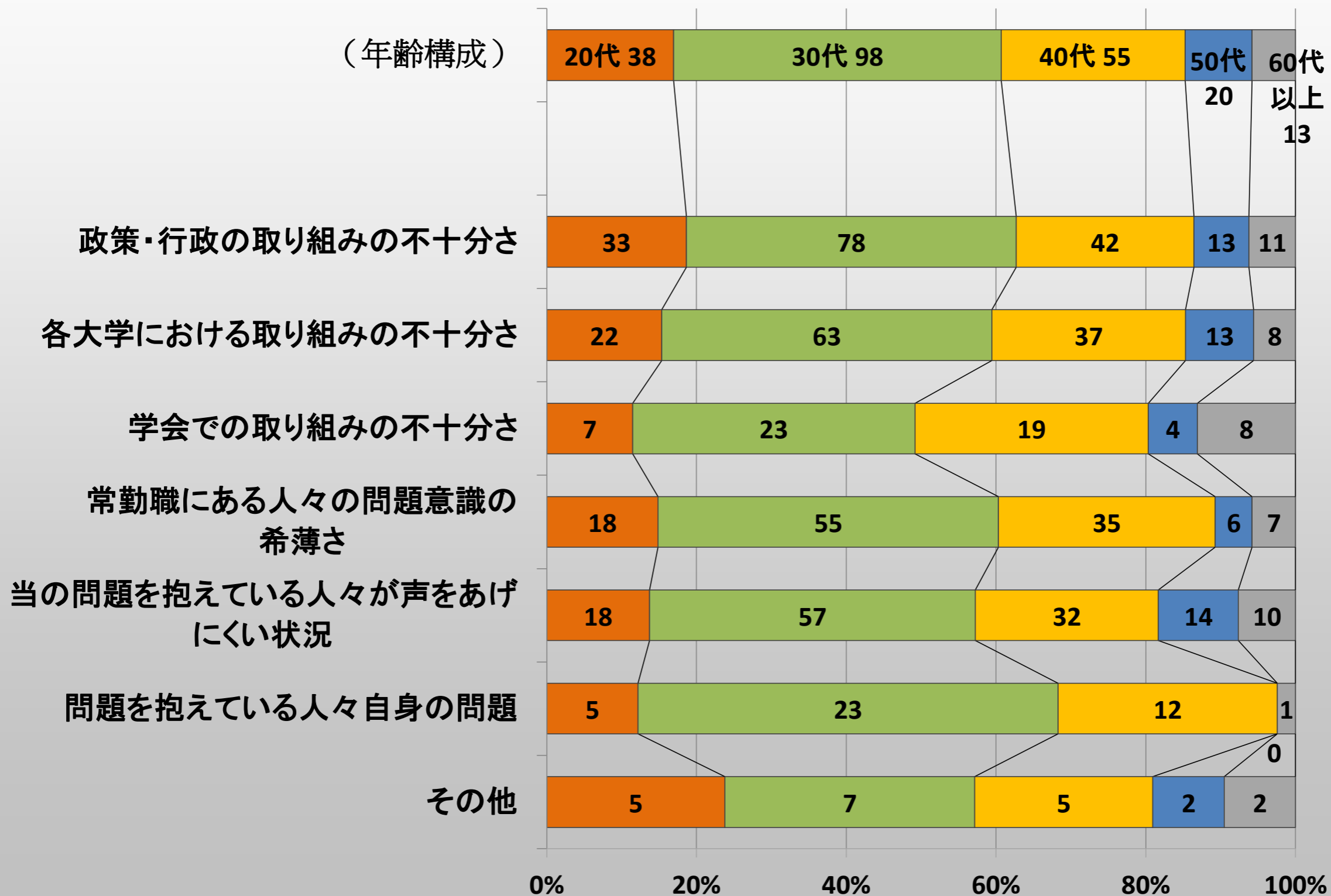


Q1.2 こうした問題に改善の兆しが見られないのは、何が原因と考えますか (複数選択可)

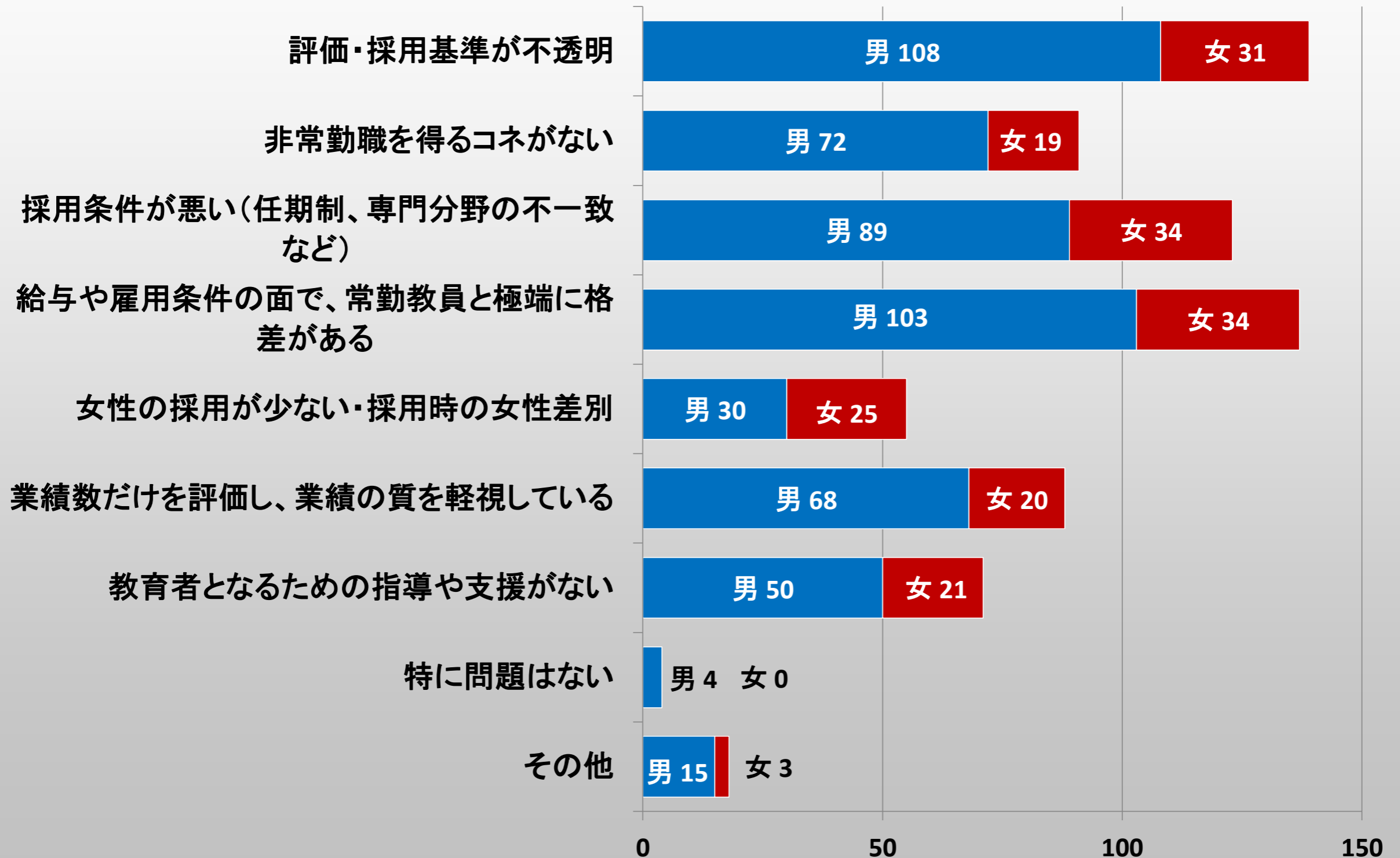


Q1.2

こうした問題に改善の兆しが見られないのは、何が原因と考えますか (複数選択可)

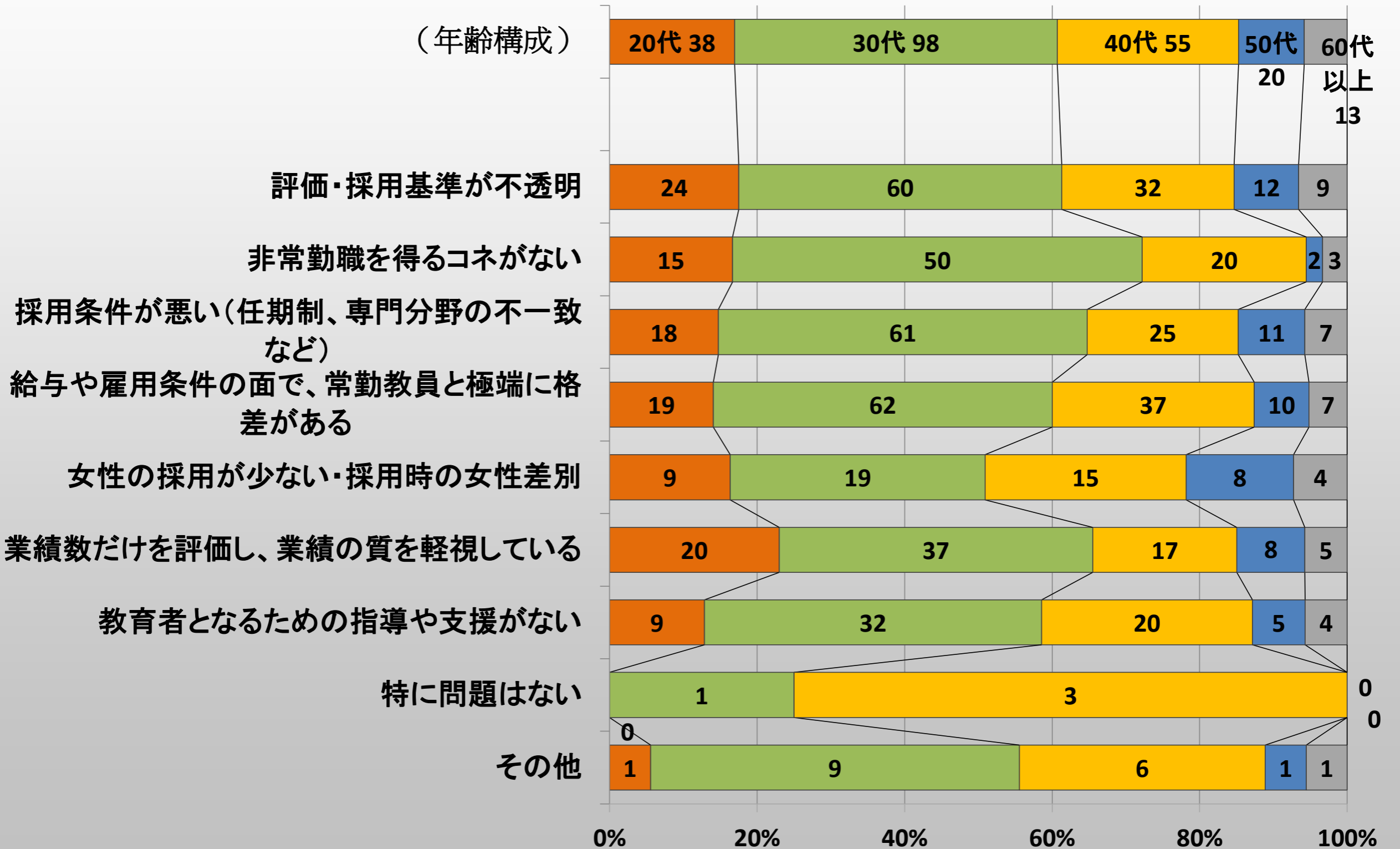


Q1.3 現今の大学教員職(非常勤職も含む)の採用形態について、どのような問題があると思いますか (複数選択可)

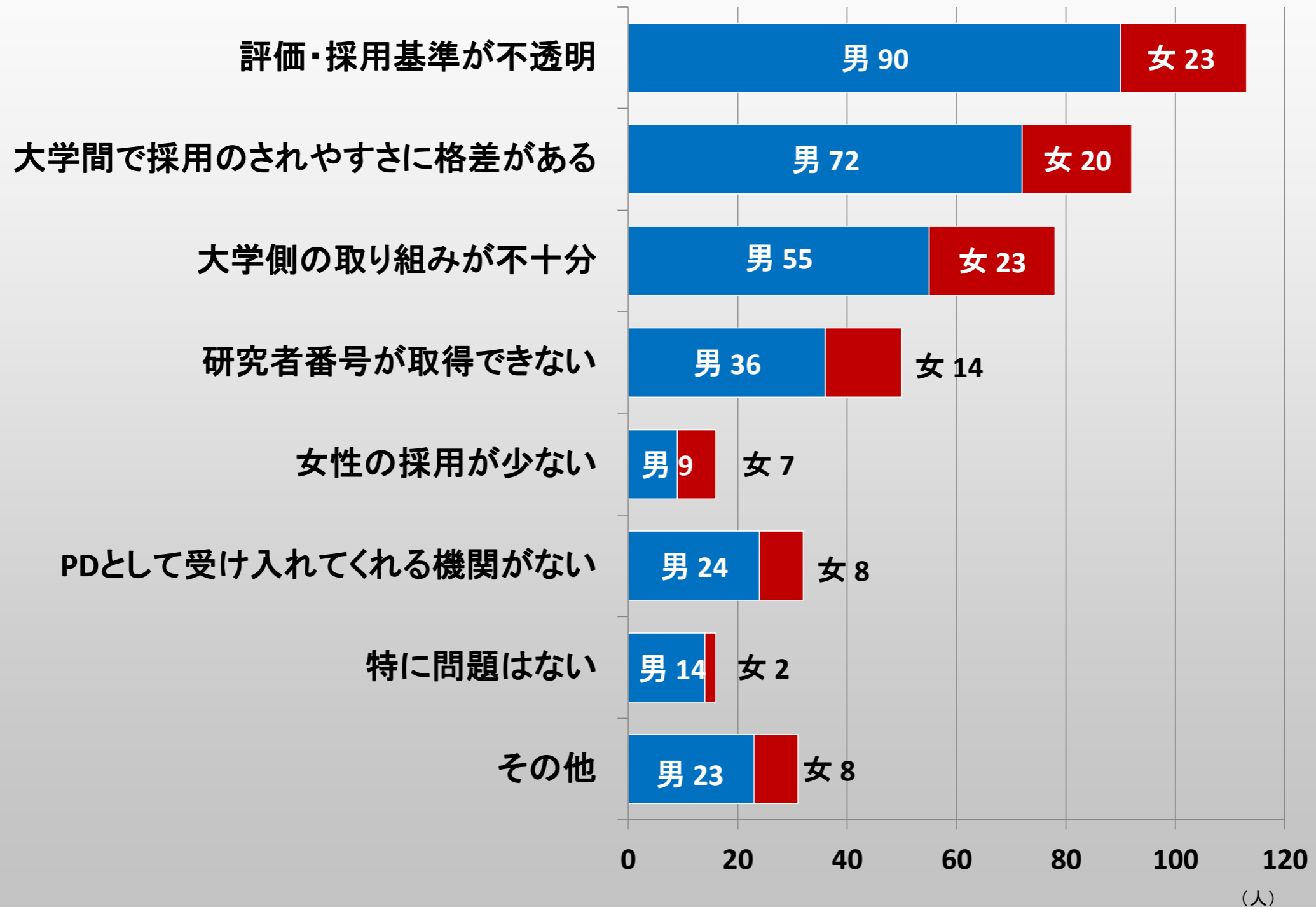


Q1.3 現今の大学教員職(非常勤職も含む)の採用形態について、どのような問題があると思いますか (複数選択可)

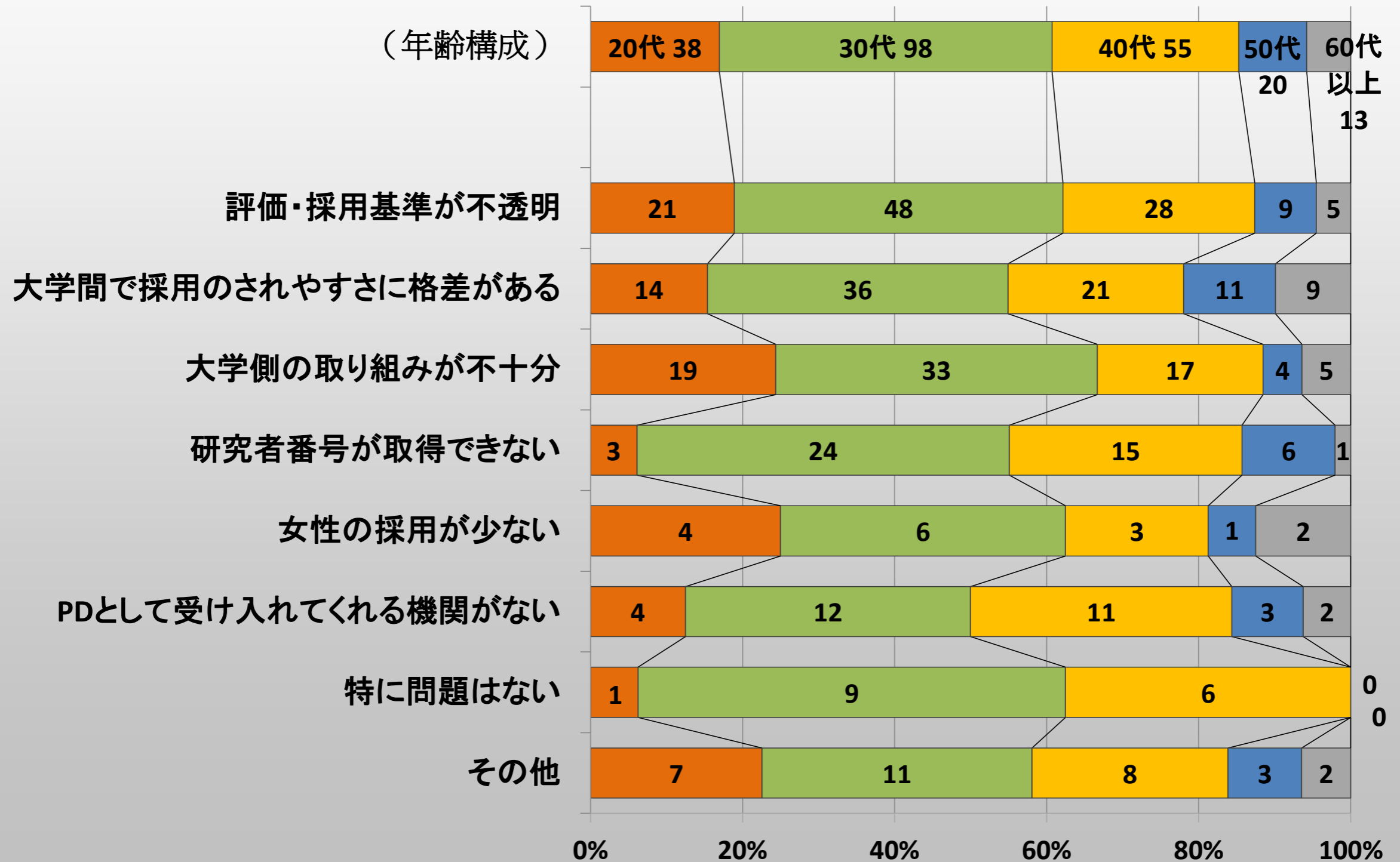
(年齢構成)



Q1.4 現今の日本学術振興会の研究支援について、どのような問題があると思いますか（複数選択可）

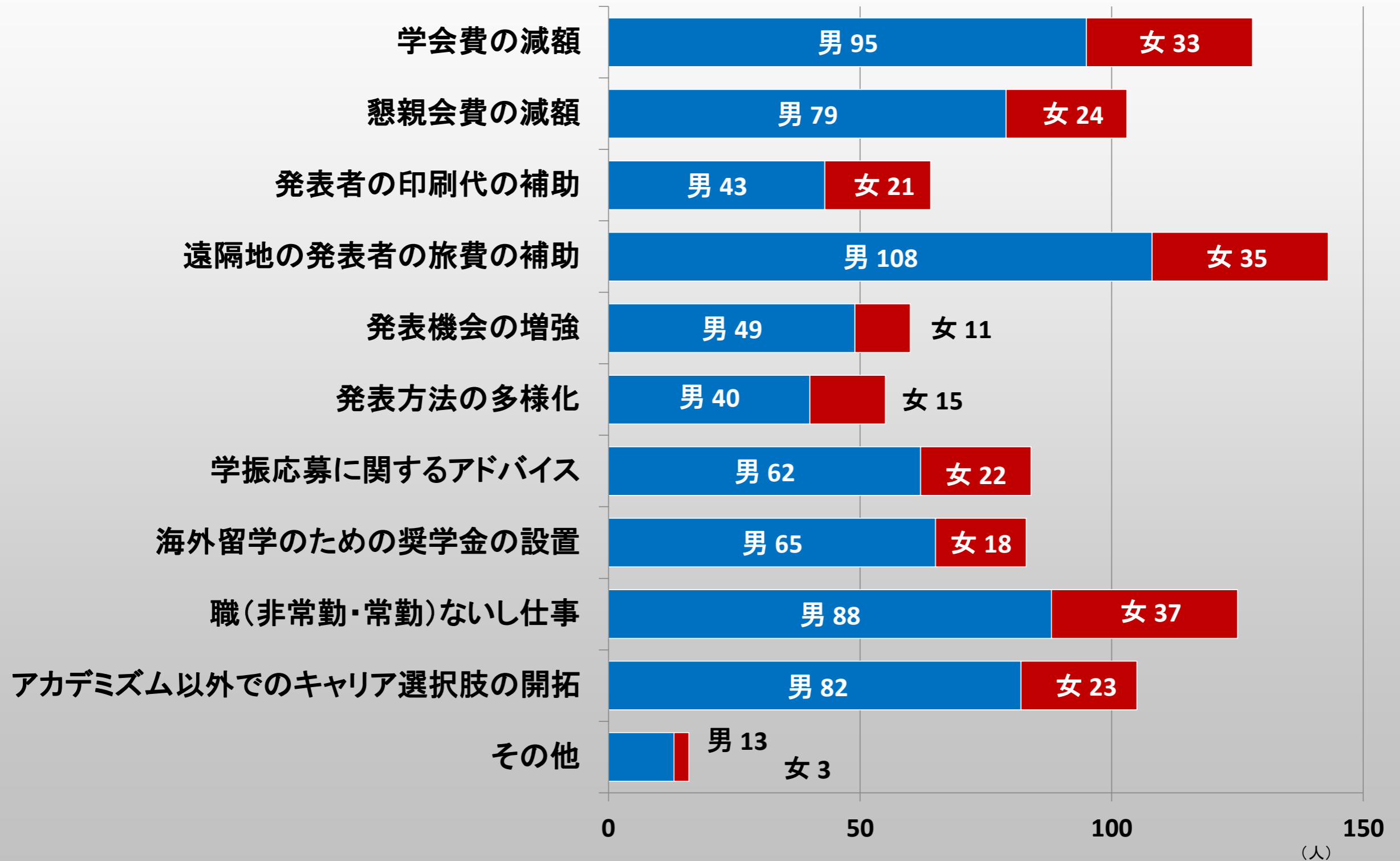


Q1.4 現今の日本学術振興会の研究支援について、どのような問題があると思いますか (複数選択可)



Q₂

日本哲学会および人文社会系の学会は、大学院生および非一 常勤職研究者に対して、どのような支援策を講じるべきと思いま すか（複数選択可）



Q₂

日本哲学会および人文社会系の学会は、大学院生および非一 常勤職研究者に対して、どのような支援策を講じるべきと思いま すか（複数選択可）

